

ナツメヤシ：苦痛の

4.5

明:ナツメヤシによる苦痛を させる作用は、科学の 展前に既に 示されていました。

目:[事イスラ ム的系统健康と](#)

より: MissionIslam.com (IslamReligion.comによる 集)

日 7 Jun 2010

集日 12 Dec 2021



生 もない赤ん坊の口の中に、ムスリムの がよく んだナツメヤシの (またはその他の甘い果) の一片を入れることは、 きに渡って 立されているイスラ ム的 の一つです。ムスリムがそのようにするのは、クルア ンの中で人 に しての治 、そして慈悲として遣わされたと言及されている 言者ムハンマド (彼に神の慈悲と祝福あれ) の 行によるものです。私たちは、こういった 行が始まったのは、そこに何らかの英知が潜んでいるからであると推 することが出来ます。そういった英知とスンナ (言者の 行) の踏 に 合するかのように、新生 の口に ‘甘い物’ を入れることは、苦痛と心拍数の低下に 的に寄与することが分かっています。

ブリティッシュ メディカル ジャ ナル (イギリス医 会 1995年6月10日号 No.6993) によって 表された 味深い研究によれば、血液サンプルの 取 、または割礼前の新生 へ糖分を与えることにより、それらの苦痛が されていることが疑念の余地なく さ

れています。

英国 リズ 合病院の 病 において、『蔗糖による正期 への 痛作用： 床 』と名付けられた研究が、ノラハウリ、クリストファ ウッド、ジリアン グリフィス、マルコム レヴィ ンらによって行なわれました。

胎期 37 42 、 1 6日の60人の健康な新生 が任意に 出され、12.5%蔗糖、25%蔗糖、50%蔗糖、あるいは 菌水（比 照用）といった四つの 肢のいずれかから2mlを 取させられました。

最初のグル プの30人の赤ちゃんたちは、黄疸の有 を べるための定期的な血液 （かかとに を刺して血液を 取る、痛みを伴うもの）の前に液糖を 取しました。他の30人の赤ちゃんたちは、比 照のための なる 菌水を与えられました。

そしてかかとに を刺す前に なる水を与えられた赤ちゃんと比較 した 合、25%、もしくは50%の蔗糖を与えられた赤ちゃんは、泣きじゃくる が大幅に 少したことが分かりました。また、彼らの心拍数もより早く元 に ったのです。液糖の糖分が いほど 果も上がり、蔗糖の配合率を やせば やすほど泣く も 少しました。私たちはこれによって、蔗糖（糖分）を 取ることは 果的であり、新生 にとって安全な 痛 であると 付けることが出来ます。

またプラスとホフマイヤ も、口移しで与えられた12%の蔗糖は、かかとへの 、あるいは割礼を行なわれた新生 の泣く を著しく 少させたことを示しました。この研究はインデペンデント （1995年6月9日金曜日号）、そしてブリティッシュ メディカル ジャ ナルの 事において 告されています。

言者（彼に平安あれ）の 行は彼の言行集として、 されています。そしてその中でも最も 威高いものが、アル＝ブハリ とムスリムの二大真性集です：

アブ ブラダは、アブ ムサ が次のように言ったと 告しています：

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/565>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。